

郡山高等学校 オーストラリア研修 10 日目報告書

研修 10 日目、今日は小学生との交流と、高齢者福祉施設への訪問にと、盛り沢山な一日となりました。

現地小学生との交流では、プレゼンの発表と折り紙を行いました。折り紙に関しては、鶴を折ったことがない生徒さんも数名おり、先週放課後の時間を使って事前に練習をした程です。貴校生にとっても日本文化に触れる良い機会になったのではと思います。そして、いよいよ小学生との対面。低学年～高学年の児童が 30 名程ずつ、5 回に分けて交流を行いました。児童が会場に入ってくると、その小さな愛らしい姿に、貴校生から「かわいい！」との歓声があがりました。

まずは、プレゼンの発表です。トピックは、小学生が楽しめるようにと、「日本文化」「折紙と日本の遊び」「日本クイズ」を選びました。「日本文化」のチームは、先週行ったバディに向けての発表で自信がついたのか、ジェスチャーも加えたことで、更に堂々として見えました。その勇姿に後押しされ、続く 2 グループも生き生きと発表していきます。また、小学生が内容に対して無邪気に感想を漏らしたり、投げかけにも手を挙げて、元気よく答えてくれる姿を見てか、緊張していた生徒さんの表情が徐々に柔らかくなっていったのが印象的でした。

そして、小学生も楽しみにしていた折紙タイム。初めて日本文化に触れるお子さんも多く、色とりどりの折紙から、いったい何ができるのだろうという好奇心で、児童の瞳はキラキラと輝きます。その期待に応えようと、貴校生が奮闘。英語での説明は勿論、手取り足取り教える姿はとても微笑ましい光景でした。鶴だけでなく、手裏剣や兜、お花やハートといった様々な作品が完成し、小学生も大興奮です。終了時刻となり、先生に移動を促されても、「まだここにいたい！」と中々移動しない児童もいる程、貴校生、現地児童ともに楽しい時間を過ごすことができました。

午後は、高齢者福祉施設を訪問しました。到着後、施設の方が館内を案内して下さったのですが、入居者の家族が集まったり、誕生日などをお祝いする部屋があったりと、まるでホテルを思わせる豪華な作りで、生徒さんは驚きを隠せない様子でした。そこでは、入居者の方に向けて、プレゼンと歌、ダンスの発表です。プレゼンは「震災と復興」についてです。実体験を元にお話する貴校生の姿に、お年寄りも真剣に耳を傾けてくれている様子が伝わりました。そして、入居者の方は歌がお好きなようで、準備していた「校歌」と「蛍の光」の他にも、何か歌って欲しいと要望がありました。生徒さんで相談してもらい、「旅立ちの日に」を即興で披露すると、その美しい歌声に入居者の方は大変喜ばれ、お返しとしてオーストラリア国歌斉唱の素敵なプレゼントが。その後は、作ってきた折紙を片手に交流会となりました。「どこから来たの」「オーストラリアでの生活はどう？」など、まるでお孫さんと接するような優しい会話があちらこちらから聞こえ、終始暖かな雰囲気での交流会は終了しました。

ホストスクール LCC での活動も残り 2 日となりました。明日は、バディとの最後の交流、そして修了証書授与式を予定しています。研修も佳境を迎えますので、最後まで全力で駆け抜けて欲しいと思います。



集合写真



プレゼン①



プレゼン②



プレゼン③



プレゼン④



プレゼン⑤



プレゼン⑥



プレゼン⑦



小学生との交流①



小学生との交流②



高齢者福祉施設 プレゼン①



高齢者福祉施設 プレゼン②



高齢者福祉施設 合唱



高齢者福祉施設での交流



高齢者福祉施設での交流